



YAMANASHI

令和6年度
山梨県ふるさと納税充当事業
成果報告書

#ふるさと納税

2024
YAMANASHI

山梨県 総務部 資産高度利用推進課

令和6年度 ふるさと納税充当事業

A square icon with a blue background showing white ripples on water.

I

ふるさとの水を育む森林保全に関する取り組み ---- P2

A square icon with a blue background showing a white silhouette of Mount Fuji.

II

富士山の保全、環境美化に関する取り組み ----- P4

A square icon with a colorful background showing a group of young people.

III

ふるさとの青少年育成に関する取り組み ----- P5

A square icon with a pink background showing a person holding a baby.

IV

ふるさとの福祉向上に関する取り組み ----- P7

A square icon with a green background showing a classroom with desks and chairs.

V

高校教育の充実に関する取り組み ----- P9

A square icon with a blue background showing a network of nodes and lines.

VI

ふるさとの未来を創るDXに関する取り組み ----- P11

A square icon with a yellow background showing a hand holding a coin.

VII

クラウドファンディングに関する取り組み ----- P12

ふるさとの水を育む森林保全に関する取り組み



1 県民緑化まつり事業

緑や森林に対する関心が高まる中で、緑をつくり・緑を育て・緑を守る意識を啓発するとともに、県民参加による緑づくりを行うことにより、うるおいと安らぎのある緑豊かな県土づくりを目指すため本県では「県民緑化まつり」を毎年開催しています。

令和6年5月17日(土)、御坂路さくら公園（笛吹市御坂町）において、「令和6年度県民緑化まつり」として、記念式典を開催し、およそ400名が参加しました。また、会場内に、サクラ214本、イロハモミジ50本、コナラ30本、クヌギ70本、ソヨゴ50本を植樹しました。



2 松くい虫等総合対策事業

本県の観光地や景勝地等の景観を構成する大切な存在の一つであるアカマツ。このアカマツが枯れる原因となるマツノザイセンチュウの侵入、増殖を防ぐため、マツの幹に薬剤を注入（樹幹注入）し、松くい虫の被害を未然に対策しています。

令和6年度の樹幹注入による予防事業は、昇仙峡（甲府市・甲斐市）、塩の山（甲州市）、諏訪の森（富士吉田市）、剣丸尾（富士吉田市・富士河口湖町）において、延べ1,261本のアカマツを対象に実施しました。

3 種苗林木育種事業



一粒の種子から芽生えた小さな苗木がやがて大きな木となり森が形づくられます。山梨の豊かな森の風景を未来に残し、また、木材資源を絶え間なく生産する場として森を活用していくために、種子は欠くことのできない基本的存在です。

本県では、「小淵沢」（北杜市）、「切久保」（南部町）、「富士山」（富士吉田市）など6ヶ所に県が保有する採種園（優良苗木の種子を採取する場所）のほか県内各地から採取した種子を、県内の苗木生産者の方へ供給しています。令和6年度はこの事業により、これら採種園の管理（下草刈り11.2haほか）や種子の採取（80.4kg）などを行いました。

4 山梨の自然が育む水の魅力と育水の啓発事業



山梨の水に関する地域資源（景勝地やグルメ、温泉など）について、InstagramやYouTubeなどで情報発信を行うとともに、山梨の「水」を育む自然などを体験できる観光コースを紹介するガイドブックを作成し、サービスエリアなどで配布することで、山梨県の豊かで良質な「水」の魅力を全国にPRしました。

さらに、小中学生などを対象に、山梨の「水」が育む自然を体感する環境教育イベントを開催し、健全な水循環や育水の大切さについて学んでもらいました。



5 ニホンジカ・イノシシ・ニホンザルによる農林業被害等の防止

増加または生息域を拡大しているニホンジカ・イノシシ・ニホンザルについては、第二種特定鳥獣管理計画に基づき、適正な個体数調整により、農林業被害や生態系への影響を軽減するため、管理捕獲を実施しました。



山梨市牧丘地区乙女高原草刈

6 自然公園美化推進事業

本県の山岳観光地である南アルプス地域（国立公園・県立自然公園）、八ヶ岳地域（国定公園）、秩父多摩甲斐地域（国立公園）を清浄な環境に保ち、自然景観を保護するため、自然公園内の登山道等の清掃及び整備活動、除草活動等に対して助成しました。

分野

Ⅱ

富士山の保全、環境美化に関する取り組み



1 富士山世界遺産センター運営事業

富士山の顕著な普遍的価値の普及啓発及び保存管理の拠点である富士山世界遺産センターにおいて、企画展の開催、教育旅行の受入、富士山の総合学術調査研究の実施及び発表等を行い、世界遺産富士山の後世への継承に向けた取り組みが進みました。

ふるさとの青少年育成に関する取り組み

1 子ども・若者の男女共同参画啓発事業

未来を担う子どもや若者が、性別に関わらず、誰もが自分らしく輝ける社会について自ら学び・考える機会とするため、年代に応じた啓発事業を行いました。



○小学生に向けて

図画コンクールを開催し、性別に関わらず自分らしく輝く様子がいきいきと描かれた、計189作品が集まりました。12作品が入賞し、小瀬スポーツ公園にて表彰式が実施されました。



○中学生に向けて

啓発冊子「カラフル」を作成し、県内の中学1年生全員に配布しました。本冊子を活用した授業も開催され、中学生が将来なりたい自分像を考えるきっかけとなりました。



○高校生以上の若者に向けて

県内の高校生、大学生計8名が参加し、全5回にわたるワークショップを実施しました。参加者は、多様性社会やジェンダー平等について学び、その学びをもとに、子どもたちへ向けた動画を制作しました。成果発表会では、動画に込めたメッセージを県民の皆さまに向けて発信しました。完成した動画は、山梨県の公式YouTubeチャンネルにて公開されています。

2 やまなし共生社会推進事業

誰もが個性・能力を発揮することができ、活躍することができる社会の実現に向けて、「多様性」を認め合う「共生社会」を目指した取り組みがスタートしました。

ふるさと納税を充当いただいたおかげで、「共生社会の実現」に向けた取り組みを県民運動に発展させるきっかけとなるセミナーやシンポジウムを多数開催することができました。

令和7年3月17日（月）に開催された「YAMANASHI POWER FORUM 2025」においては、様々な実務者のプロジェクトなどに触れながら、「誰もが自分らしく能力・個性を発揮することができる」「チャレンジする人を応援することができる・支え合えることができる」といった、お互いを認め合いながら高め合える「共生社会」について考えました。

山梨県では、今後も共生社会について考えることができる様々な普及啓発事業を実施していくことで、共生社会の実現を目指していきます。



「YAMANASHI POWER FORUM 2025」



3 産業技術短期大学校等就学サポート事業

生活が困窮し経済的な不安を抱える学生も安心して職業能力開発施設で学び続けることができるように創設された給付型奨学金制度に基づき、経済的な不安を抱える学生に就学給付金を支給しました。

支給実績

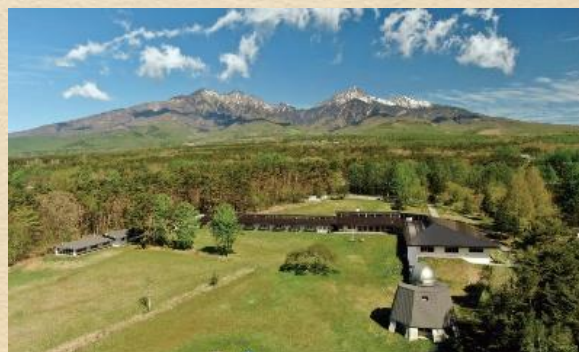
令和6年度：11人（支給額：2,922,000円）



4 八ヶ岳少年自然の家の運営

県立八ヶ岳少年自然の家は、恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、心身ともにたくましい少年を育成することを目的に設置された青少年教育施設です。

施設では、集団宿泊体験をはじめ、冒険ハイクや野外炊事、クラフト体験等、自然体験・生活体験・交流体験を効果的に実施し、延べ40,100人を超える方にご利用いただきました。





1 産前産後ケアセンター『ママの里』利用費補助事業



産後の疲れたお母さんの心と体に寄り添いながら、お母さんが明るい気持ちで子育てができるようサポートする施設です。

令和6年度は、延べ470組のお母さんとそのお子さんに、宿泊型産後ケアをご利用いただきました。

利用者へのアンケート調査でも、非常に高い満足度をいただいております、多くのお母さん方の子育てに対する不安軽減に役立っています。



2 産前産後ケアセンター事業

子育て支援関係者の資質向上と、地域における子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを支援する子育て協働社会の構築を図るため、『やまはぴ交流セミナー2024』を開催しました。

基調講演では「いま、なぜ子どもの居場所づくりが必要なのか」と題して、認定NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野 博之氏に講話いただいたほか、分科会を開催し、講話及び参加者同士のディスカッション等を実施しました。

山梨県子育て支援人材育成強化事業

やまはぴ交流セミナー
—2024—

参加無料 先着80名

日付 **11月6日(水)** 時間 **13:20~16:40** (受付13:00~)

会場 **スクレーンセンター** 対象 **行政関係者、子育て支援に関わる方、子育て支援に関心のある方など**
(国交市石川町広瀬626-1)

オープニング 13:20~
基調講演 13:30~

いま、なぜ子どもの居場所づくりが必要なのか

基調講演者 **西野 博之さん**
認定NPO法人フリースペースたまりば理事長、東京大学名誉教授、経済産業省政策評価官、子ども未来・フリースペースなど、事業推進アドバイザー、2020年7月よりフリースペースたまりば理事に就任。10年間に、川崎市・横浜市により100以上の居場所「フリースペースたまりば」を開設。

分科会 14:40~(2時間)
分科会テーマ① **子どもの権利条約を活かしたまちづくり**
西野 博之さん
分科会テーマ② **父親に求められている支援とは?**
エンフルス・山梨株式会社 **古屋 香葉さん**
コベ・システム(東京都中野区) **秋葉 隆由さん**

子育て世帯訪問支援事業でできること
認定NPO法人山梨県子育て支援ネットワーク **代表理事 森田 圭子さん**

主催: 山梨県 ●実施主体: やまなし子育て応援ネットワークはぴは
会場: Happy Space 059-5050 (事務局) 0553-477552 / 月~金10:00~17:00

3 産休・育休明け保育推進事業費補助金

保育の質の向上、保護者が安心して子どもを預けることができる保育環境の整備のため、1歳児を担当する保育士を、配置基準を超えて配置し、手厚い保育を実施する保育所等に対して支援を行いました。

当該事業の実施により、保護者の産休・育休期間が終了した乳幼児の円滑な保育所入所を促進することで、地域社会の要望に即応した保育体制を確立し、児童福祉の向上を図りました。

【保育士配置基準】※令和6年度現在

対象児	子どもの数	保育士の数
乳児(0歳児)	3	1
1歳児	6	1
2歳児	6	1
3歳児	15	1
4歳以上児	25	1



対象児	子どもの数	保育士の数
乳児(0歳児)	3	1
1歳児	4.5	1
2歳児	6	1
3歳児	15	1
4歳以上児	25	1

4 4・5歳児等教育推進事業費補助金

幼児教育の質の向上、保護者が安心して子どもを預けることができる環境の整備のため、4・5歳児等を担当する幼稚園教諭を、配置基準を超えて配置し、手厚い教育を実施する幼稚園に対して支援を行いました。

当該事業の実施により、児童一人ひとりに向き合ったきめ細かで質の高い教育を推進することで、地域社会の要望に即応した教育体制を確立し、児童福祉等の向上を図りました。

【幼稚園教諭配置基準】

対象児	子どもの数	保育士の数
3～5歳児	35	1



対象児	子どもの数	保育士の数
3～5歳児	25	1

5 病児・病後児保育利用料軽減事業費

病児・病後児保育施設の保護者利用料を軽減する施設の軽減分経費を市町村が補助する場合に補助することで、保護者が病気の子どもの安心して預け、仕事と子育ての両立ができる環境支援を行いました。

利用延べ人数 2, 257人

6 やまなし子育て応援事業費補助金

仕事と子育ての両立を支援するため、年収約640万円相当未満で対象となる28世帯について、第2子以降が3歳になるまでの間、障害児通所支援事業利用に係る費用を無料化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図りました。

7 百歳長寿褒状贈呈事業

敬老思想の向上を図るため、県内にお住まいで新たに100歳を迎えられるお年寄りと県内最高齢者に対し、例年、老人週間に併せて知事の褒状及び褒状入れを贈呈しています。

褒状は手漉き和紙、褒状入れは郡内織物と、贈呈品には県産品を使用しています。

令和6年度は、447人のお年寄りに褒状を贈呈し、ご長寿をお祝いすることができました。



高校教育の充実に関する取り組み

1 県立学校の授業でICT技術を活用するための支援事業

山梨県では令和4年度から、県立学校の生徒全員が自分のパソコンを学校に持参し、ICT技術を活かした授業が行われています。

進化するICT教育に対応するため、先生たちも日々工夫を重ねながら授業を行っています。

ふるさと納税を活用してICTに詳しい支援員の方を学校に派遣することで、先生たちのサポートを行い、より先進的で魅力ある授業づくりを後押ししています。



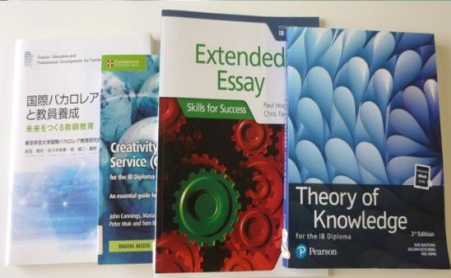
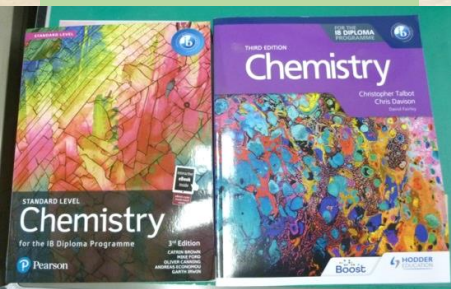
パソコンを使った授業風景

2 グローバル人材育成教育プログラム

令和3年度より、県立高校においてグローバル化に対応できる生徒を育成することを目的とした教育プログラムが本格的に開始されました。

授業においてはICTを効果的に利活用しながら、ディスカッションを中心とした質の高い探究的な学びが行われています。これまでふるさと納税を充当していただいたおかげで教室の整備が進み、授業で使用する書籍も充実させることができました。

令和7年3月には3度目の卒業生を送り出すことができました。



3 公立高等学校等入学準備サポート事業費

高校生の就学に対する国の経済的支援に加え、県独自の給付金制度により、経済的に余裕のない世帯の負担軽減を図りました。

○支給対象：高校への入学準備に必要な経費

①制服 ②体育着 ③上履き ④体育館履き

○支給額

一人 50,000円

○支給実績

令和6年度：369人（支給額 18,450千円）

4 自ら学ぶ学校図書館活用事業



（事業の概要）

学校図書館は資料を収集・整理・保存し、生徒及び教員の利用に供することによって学校の教育課程の展開に寄与し、生徒の健全な教養を育成するために欠くことのできない基礎的設備です。

また、高等学校学習指導要領（平成30年告示）には、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること」とあります。学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の更なる充実を図るため、県立学校に学校図書館情報管理電算システムを導入し、各校の図書館情報管理（蔵書管理）と学校間相互の蔵書検索及び貸借を行っています。

（事業の成果）

県立高等学校及びろう学校における図書データの共有により、生徒が参照できる書籍の量や幅が拡大し、知的興味の喚起、探究学習等の深化につながっています。令和5年のシステム更新時には、サーバ型システムからクラウド型システムに移行し、生徒の個人端末からの蔵書検索及び貸出予約が可能となりました。

また、学校間での同種図書の購入に係る経費削減が見込まれ、各学校の特色や生徒の実態に応じた図書の購入、学校図書館の充実につながっています。

（実 績）県立高等学校間の相互貸借による貸出総数

令和6年度 1,214冊（昨年度比 +67冊）



5 工業系高校生基幹産業担い手育成事業

（事業の趣旨）

工業系高校が地域産業界、関係機関と連携した教育活動を展開することにより、高い技術・技能を身に付け、将来の本県基幹産業を支えていく人材を育成することを目標としています。

（事業の内容）

- ・企業実習（短期企業実習・先端企業実習・長期企業実習）
- ・企業技術者等による実践的授業
- ・基幹産業理解授業
- ・高等教育機関等との連携

（目標値および成果）

①工業系高校生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合70%

令和6年度:53.4%(前年比-0.7%)

②工業系高校生の県内企業就職内定率90%

令和6年度:87.6%(前年比+0.1%)

③関係機関で技術研修を受ける工業系高校生の割合17.6%

令和6年度:17.1%(前年比+4.8%)

本事業の実施において、需要費及び報償費に活用されました。

教育活動が活性化され、特に関係機関等との連携を深めることができました。

6 グローバルリーダー育成のための国内留学推進事業

将来、グローバル人材として活躍できる生徒を育成することを目的として、県内の高校生が海外大学の日本校への国内留学を行いました。参加した生徒の感想では、英語でのディスカッションや留学生との交流など、海外大学と同じ学びができたと好評でした。

ふるさと納税を充当していただいたおかげで多くの高校生がこの事業に参加することができ、グローバル人材として必要な豊かなコミュニケーション力を身につけることができました。



分野

VI

ふるさとの未来を創るDXに関する取り組み



1 AI・データ利活用スペシャリスト養成事業

県内のDX（デジタルトランスフォーメーション）加速化に向けて、先端技術を扱うことができるデジタル人材を育成するため、県内ICT技術者を対象に、山梨大学の教授等を講師に招いて全7回のAI・データ利活用スペシャリスト養成講座を開催しました。

また、AIスキルの基礎を学んできた社会人や学生を対象に、習得スキルの実践の場として「AIを活用したハッカソン」を開催し、全5グループに分かれてのアプリ開発から課題解決、成果発表会までを行いました。

2 やまなしデータプラットフォーム機能拡張

国ではデータの積極的な活用により、国民参加・官民共同の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等を推進していることから、本県においてもデータ利活用を促進するため、令和5年3月、データの収集・蓄積・流通を担うデータ連携基盤「やまなしデータプラットフォーム」を構築しました。

令和6年度はふるさと納税を活用し、やまなしデータプラットフォームの機能拡張を実施。従来の統計データ、オープンデータ、公共施設情報、空き家情報及び感染症発生動向に加え、新たにツキノワグマ出没に対する注意対策として「ツキノワグマ出没マップ」などのデータ整備と機能強化を行いました。





1 ミルクボランティア事業 猫不妊・去勢手術助成制度補助金



ミルクボランティア事業

県に搬入される子猫の多くは、生まれて間もない子猫です。自力で体温調節や排泄ができないため、数時間おきに授乳や排泄を促したりする必要があります。

そこで、譲渡できる状態になるまで子猫のお世話をするミルクボランティア事業を実施し、活動支援として必要なミルク、ペットシート、哺乳瓶等の飼育に必要な物品を支給しています。68名、2団体の登録をいただき、163匹の育成を委託し、132匹の譲渡へとつなげることができました。

猫不妊・去勢手術助成制度補助金

県に搬入される猫のほとんどが、飼い主のいない猫から生まれた子猫です。また、飼い主のいない猫の無秩序な繁殖は、地域におけるふん尿や鳴き声など、環境問題にも関係しています。これらの問題への対策として、県では以前より、市町村が実施する飼い主のいない猫への不妊・去勢手術の助成制度に対する補助金交付を行ってきました。

令和6年度は、飼い猫及び飼い主のいない猫を対象（補助額：不妊手術15,000円/匹、去勢手術10,000円/匹を上限（飼い主のいない猫は1,000円を加算））とし、1,241匹の不妊手術、942匹の去勢手術に活用されました。



2 富士山麓の不法投棄廃棄物撤去作業



(事業内容)

富士山麓の環境美化のため、NPO等が主体となり、不法投棄により長期間放置されている産業廃棄物の撤去活動を支援する事業です。

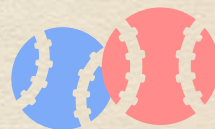
(事業成果)

認定特定非営利活動法人富士山クラブが主体となり、6月～12月までに、計4回撤去活動を実施しました。

ボランティアには延べ87人が参加、徹底的な分別・撤去を実施し、1,240kgの廃棄物を処理しました。

上記事業を実施したことで、不法投棄の未然防止の普及・啓発が図ることができました。

3 パラスポーツ用具整備プロジェクト



山梨県障害者スポーツ協会が行うスポーツ用具貸出事業や指導員派遣等に使用するパラスポーツ用具の整備に対し助成しました。

ゴールボール用のゴールセットを購入し、パラスポーツ体験会にて使用しました。また、R7年度にはパラスポーツセンターで開催される日本ゴールボール協会主催の体験会で使用する予定です。

R6年度実績	
貸出	533件
体験会	24件
指導者派遣	47件

4 山梨県立日川高等学校グラウンドの人工芝生化事業

県立学校魅力向上プロジェクト
～第1弾!!日川高校グラウンド人工芝生化!～
プロジェクトへのご寄附にご協力をお願いします!

事業計画

- 工事内容
現在の土のグラウンド約1万㎡の全面人工芝生化。
人工芝の外部への流出抑制などの対策により、環境負荷の少ない人工芝グラウンドの実現を目指します。
- 事業費(概算)
設計及び工事費: 約1億7,000万円
(物価高騰分は含まない)
維持管理費: 10年で約500万円

ご寄附は「ふるさと納税」を活用して募集します!

寄附目標金額 **1億3,000万円**

寄附募集期間(予定) **令和6年10月末まで**

- 教育環境の充実により、魅力ある学校を目指します!
- 教育環境の改善により、部活動が強化され、全国の強豪校に打ち勝つよう目指します!
- 学校開放や地域交流の場にするにより、地域の活性化を目指します!

▼寄附のお申し込みはこちら

さとふるクラウドファンディング 日川高等学校 検索

https://www.sato-furusu.jp/projects/business_detail.php?crowdfunding_id=370

※個人の方でインターネットからのご寄附が難しい場合は、県の寄附申請書によるご寄附の申し込み方法をご案内しますので、お問い合わせください。

山梨県立日川高等学校は120年を超える歴史を重ねてきた山梨県でも有数の伝統校です。「文武両道」を教育方針に持ち、ラグビーをはじめ部活動が盛んに行われています。しかし、ここ最近は日常的に人工芝グラウンドで練習する私立学校等に苦戦し、以前のように上位の成績を残せない状況にあります。そこで、普段から生徒が大会に近い環境で練習でき、大会で遺憾なく実力を発揮し、私学をはじめ強豪校に打ち勝つため、土のグラウンドを人工芝生化することを計画しました。

令和4年度から令和6年度にかけて寄附募集を実施し、多くの皆様の温かいご支援とご協力により、目標額である1億3千万円を達成することができました。心より感謝申し上げます。

頂戴した寄附金等により、令和7年度にグラウンドの人工芝生化工事を実施する予定です。

完成後には地域にも広く開放し、子どもから高齢者まで多くの方々にご利用いただけるようなグラウンドとなるよう、整備を進めてまいります。

寄附状況等について(学校施設課HP)

<https://www.pref.yamanashi.jp/gakko-sst/kifuboshu-hikawa.html>

話してみよう 自分のこと

周りに理解されるわけがないし、
自分がヤングケアラーだって友だちに話せない。

「大丈夫?」って聞かれたら「大丈夫」って答えるけど、
本当はつらい。
でも、かわいそうって思われたくない。

友達に遊びに誘われると適当な理由で断るけど、
本当は誘われるのは嬉しい。

【ヤングケアラーに関する相談先はこちら】

0120-189-783

0120-0-78310

ヤングケアラー

をもっと知るには?

山梨県公式YouTube「山梨チャンネル」で、
ヤングケアラーについて知ることができます!



発行元:山梨県子育て支援局子ども福祉課

本プロジェクトでは、ヤングケアラーとその家族に対して寄り添った支援を展開していくため、「認知度向上」、「本人への支援の充実」、「支援者の人材育成」、「包括的な仕組みの構築」を大きな柱として、様々な取り組みを実施しました。

(認知度向上の取り組み)

多様なメディアを活用したヤングケアラーへの正しい理解のための動画制作

TikTok等を活用し、ヤングケアラーの担うケア、ヤングケアラーとしての経験、著名人によるヤングケアラーへの理解を呼びかけるコメントなどの動画を制作し、幅広い世代への訴求を通年行いました。

(本人支援の充実)

相談窓口の整備

ヤングケアラー電話相談窓口(24時間、365日受付)やLINE相談窓口及び、こどもやこどもに関わる大人からの相談を受け付ける「子どもの権利相談室やまなしスマイル」を設置しています。

(包括的な仕組みの構築)

ヤングケアラー支援計画の策定

本県のヤングケアラー支援における方向性を具体的に示した計画を、3月に改定しました。引き続き、本計画をもとに、ヤングケアラーとその家族に寄り添った支援を展開してまいります。

(支援者の人材育成)

ヤングケアラー・コーディネーター養成講座の開催

ヤングケアラー支援の中心的な役割を果たす人材を育成するための講座を開催(全6回)、14名のコーディネーターを養成しました。

ヤングケアラー支援者研修の開催

専門職の支援スキルの向上と多職種連携を推進するため、研修会(5回)を開催し、延べ161名が受講しました。





6 障害者が輝くファッションショー を中心とした交流イベント開催事業

障害のある方とない方が共演するファッションショーを中心に、ダンスパフォーマンスや手話言語の啓発イベントを実施して、共生社会の実現を目指すイベントを開催しました。

**やまなし YAMANASHI
ユニバーサルフェス
UNIVERSAL FES 2024**
テーマ「共に歩む!!」

2024.8.3(土) 13:00~15:00
イオンモール甲府昭和1階 さくら広場

CONCEPT
障害のある方とない方が共演するファッションショーを中心に、ダンスパフォーマンスや手話言語の啓発イベントを一体的に開催し、社会参加の促進や共生社会の実現に繋げることを目的としています。

PROGRAM

- 1部 障害者モデルと学生によるファッションショー
- 2部 障害者グループと学生によるダンスパフォーマンス
山梨大学ダンス部・わくわくsmileサークルの皆さん
- 3部 手話言語の啓発イベント
★よしもと手話ブ! お笑いステージ ★手話落語を用いた落語 ★山梨県聴覚障害者協会による手話クイズ

出演者：よしもと手話ブ! 前田一輝、石澤瑞穂子、いしいそうたろう、高橋誠一郎



「やまなしユニバーサルフェス2024」

テーマ：「共に歩む！」

日時：令和6年8月3日（土）13:00～15:00

場所：イオンモール甲府昭和 1階 さくら広場

【第1部】「障害者モデルと学生ペア、ゲストとのペアによるファッションショー」

【第2部】「障害者グループと学生によるダンスパフォーマンス」

【第3部】「手話言語の啓発イベント」

①よしもと手話ブ!による「お笑い手話ライブ」

②甲州手話落語会による「手話落語」

③山梨県聴覚障害者協会による「手話クイズ」

出演者や来場者からは、来年度以降も参加を望む声を多数いただきました。

寄付によるご支援のおかげもあり、令和7年度も「やまなしユニバーサルフェス2025」と題して、引き続き開催する運びとなりました。

7 やまなしメディア芸術アワード開催事業

創造性にあふれる地域社会をめざして、アーティストのキャリア形成を促進すると共に、本県での創作活動の契機とする『やまなしメディア芸術アワード（YMAA）2024-25』を開催しました。

YMAA入選作品展

国内外303点の応募作品から一次審査で選出された入選作品10点を展示しました。

公募期間：令和6年9月27日～12月15日

入選作品展：令和7年3月8日～3月30日

開催場所：

【甲府会場】

小さな蔵の美術館

（甲府市丸の内1-1-25 甲州夢小路）

ART SPACE 夢

（甲府市中央2-5-29 マイヅルビル2F）

【北杜会場】

GASBON METABOLISM

（北杜市明野町浅尾新田12）



YMAAメタバース企画

「拡張遊歩『まだ見ぬ世界』の歩き方」展

富士河口湖町を拠点に活動するアーティスト・コレクティブ、6okken（ロッケン）が富士山エリアで課題となっている「オーバーツーリズム」に着目し、AR、VR技術を用いたこれまでにないツーリズムを芸術作品にて提案、実施しました。

会期：令和7年3月8日～3月30日

場所：河口湖エリア及び古民家（大石公園近く）

YMAAラーニング

メディア・テクノロジーを用いた創作表現の機会を提供する教育普及事業を実施しました。

①駿台甲府高校美術デザイン科×東京藝術大学 大学院映像研究科

日時：令和7年2月3日、4日

場所：駿台甲府高校 美術デザイン科

講師：畠山直哉氏

（東京藝術大学大学院映像研究科 教授）

②ものから学ぶ・ものを楽しむワークショップ

日時：令和7年3月20日

場所：山梨デザインセンター

講師：荒牧 悠

（アーティスト、多摩美術大学美術学部統合デザイン学科講師）



お問い合わせ先

山梨県 総務部 資産高度利用推進課
資産活用・ふるさと納税推進担当

〒400-8501

山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号

TEL:055-223-1314

FAX:055-223-1379

E-MAIL:furusatonouzei@pref.yamanashi.lg.jp

